

あかるいまち21

No.1149号 2018年6月27日 組織部 TEL082-532-1264

	6月累計	2018年度
組合員ふやし	66人	217人
出資金ふやし	953万円	1524万円
純増	▲68万円	10万円

誕生から1年！ 0才児と新米ママらの居るところ

交流、あそび、けんこう、子育ての相談など ~ぴよぴよクラブ~

毎月第4金曜日、生協けんこうプラザの5階で「子育て広場・コープぴよぴよクラブ」が開催されています。ここは、0歳児のお子さんとその保護者(特に初めてのママ)が対象となっているオープンスペースで、毎月10組前後の親子が来られています。

6月26日は、「アロマを使った虫よけスプレー」をお母さんたちと作製しました。市販の虫よけスプレーは第2次世界大戦中ジャングル戦のためにアメリカ陸軍が開発した「ディート」と呼ばれる薬品が使われており、その為、市販の虫よけスプレーには子どもへの使用を制限する注意書きがあります。今回作ったものは蚊の嫌がるアロマを使用することで蚊を寄せ付けない効果があります。作製後も親子同士交流を深めました。新しい参加者も増えてきています。今後も親子にとっての居場所を目指して運営していきたいと思っております



戦争文化ではなく、平和のために努力する文化へ

6/22(金)横川三篠支部・生協社保平和委員会の共同企画の平和学習会あり、壁面七宝作家の田中稔子さんをお迎えしてご講演いただきました。田中さんは、七宝作家として平和への思いを作品に込めつつも、その過酷な体験を語るができなかったそうですが、ピースボートクルーズで被爆者募集があり乗船したところ、被爆体験を語ってほしいと懇願されたことがきっかけとなり、以降、国内外で一般市民・学生らに被爆証言や核廃絶の訴えをされています。

自宅のあった爆心地近くの加古町から強制疎開をした数日後に原爆が投下され、疎開先の牛田で被爆(爆心地から2.3km当時6歳)した田中さん。疎開していなかった地元の友達すべてを亡くしてしまったことや今でも忘れることができないという辛い光景を語っていただきました。また、チェルノブイリ、福島原発事故、北朝鮮の非核化問題などにも触れられました。「あの日を忘れないため、世界を変える力になれば」「後世に戦争文化ではなく、平和のために努力する文化を」「世界に目を向け、世界中のできるだけ多くの人々と友達になってください。友達に核兵器を使う気持ちにはなれないから」などなど、お話の中で心がググッと動いた瞬間がたくさんありました。

講演では、田中さんの七宝作品と作品に込められたメッセージも紹介され、その美しさと壮大さに実物をぜひ見たいとの声も多く聞かれました。田中さんは、自宅を改修し「PEACE 交流スペース」として開放されているそうです。班会として見学に訪れてみるのもいいかもしれませんね

